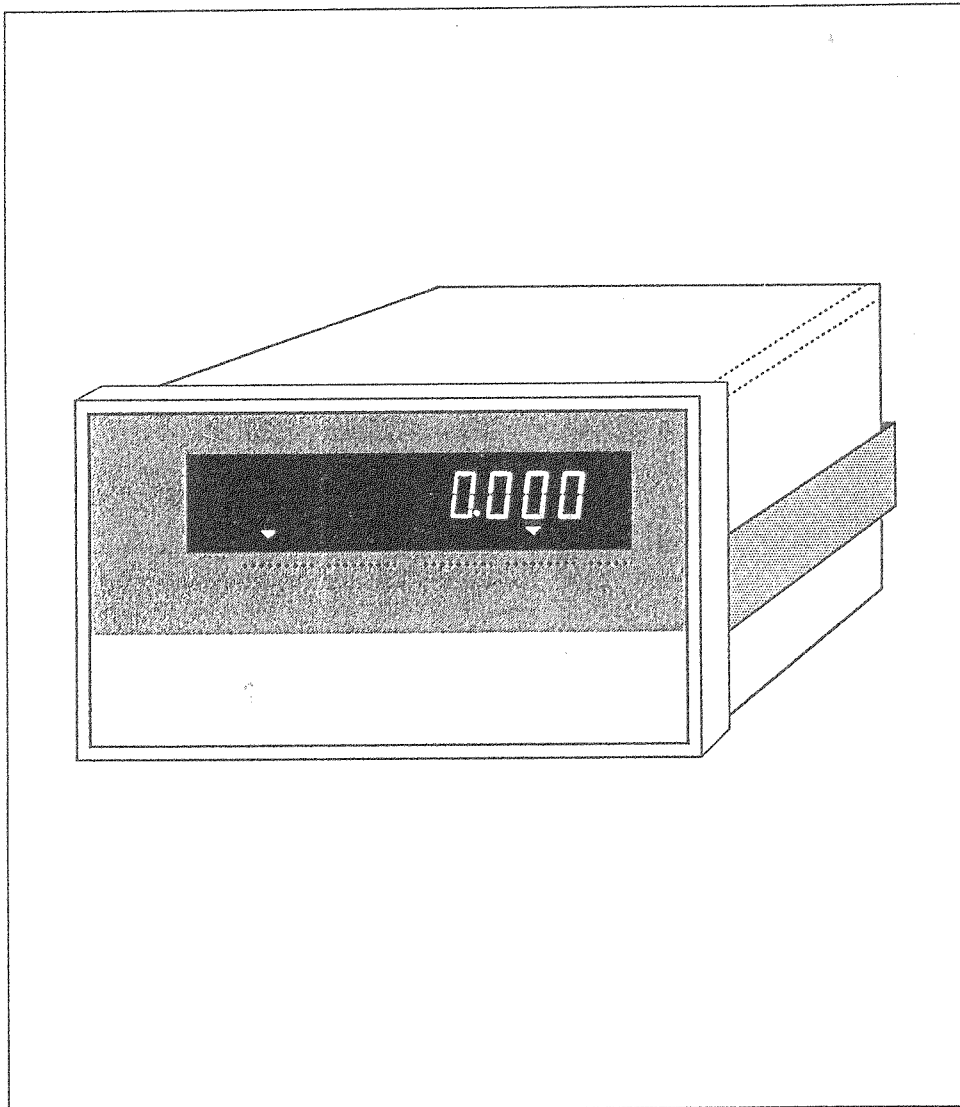


AD-8917

多機能外部表示器

## 取扱説明書



**AND** 株式会社 **エーアンド・デイ**

この取扱説明書は、小型表示器 AD-8917 の操作方法、接続方法等、  
機器を十分に活用するための事項について述べてあります。  
御使用前に本書を熟読のうえ正しく取り扱い下さい。

#### 御注意

本書の内容については改良のため予告なく変更する場合があります。

# 目 次

第 1 章	概要	1
第 2 章	性能	1
2-1	表示部	1
2-2	設定用スイッチ	1
2-3	リアパネル部	1
2-4	一般仕様	1
2-5	付属品	1
第 3 章	操作方法	2 ~ 18
3-1	据付及び接続	2
3-2	パネル面の説明	3 ~ 5
3-3	基本動作	6
3-4	設定	7 ~ 9
3-5	モードの説明	9 ~ 10
3-6	シリアル入出力	11 ~ 13
3-7	オーバーとエラー	14
3-8	使用例	15 ~ 18
第 4 章	保守	19 ~ 20
4-1	チェック動作	19 ~ 20
4-2	正しく動作しない場合	20
第 5 章	外形図	21
第 6 章	別売品	22

## 第1章 概要

AD-8917は、ウェイング インジケータ、トラックスケール、台秤等のカレントループ出力に接続し、重量値を表示させる事を目的とした外部表示器です。また、切換により総重量値、正味重量値、風袋重量値、そしてそれらの累計値、累計回数値を表示できます。

さらに、本器を直列接続して、それぞれを別々に表示することもできます。

弊社適応機種……………4316, 4321, 4322, 4323, 4347, 8117  
8916, FV・FWシリーズなど

## 第2章 性能

### 2-1 表示部

- 表示素子 …………… 文字高13mm蛍光管(7桁)
- 表示色 …………… コバルトブルー
- 表示機能 …………… 重量値(総重量値、正味重量値、風袋重量値、累計値、累計回数値)

### 2-2 設定用スイッチ部

フロントパネル裏のディップスイッチにて、モード等、各種の設定ができます。

### 2-3 リアパネル部

シリアル入出力用コネクタ、コントロール入力用コネクタ、電源ケーブル用コネクタ及びヒューズホルダーがあります。

### 2-4 一般仕様

- 電源 …………… AC100V+10%-15%、50/60Hz、約5VA
- 重量 …………… 約1kg
- 使用温湿度範囲 …………… -5~40℃、85%RH以下(但し、結露しないこと)
- 保存温湿度範囲 …………… -15~70℃、85%RH以下(但し、結露しないこと)
- 外形寸法 …………… 144(W)×179(D)×72(H)mm(外形図参照)
- パネルカット寸法 …………… 138 ×68 mm
- 接続可能距離 …………… 約100m

### 2-5 付属品

- ヒューズ…………… 1ケ(F7142-0.3A、サトーパーツ)
- コントロール入力コネクタ…………… 1ケ(FCN361J016-AG、  
FCN360C016-B富士通)
- シリアル入出力用コネクタ…………… 1ケ(TCP0576、星電器製造)
- 電源ケーブル…………… 1ケ(KO:115、ET:9102)

## 第3章 操作方法

### 3-1 据付及び接続

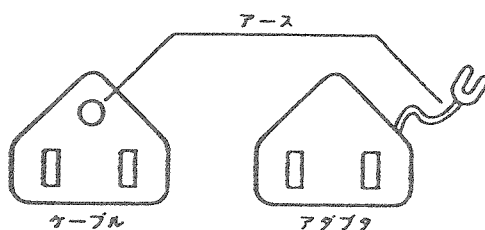
#### 3-1-1 据付及び電源/アースの接続

本器は、精密電子機器ですので、取扱いには、充分注意して下さい。

1) 使用温度範囲は、 $-5^{\circ}\text{C}\sim+40^{\circ}\text{C}$ 以内です。

直射日光の当たらない場所に設置して下さい。

2) 大地アースは、必ず接続して下さい。接地は3種、単独アースに接続して、電力機器系のアースと共用しないで下さい。アースは、付属の電源ケーブルに出ていますので、これに接続して下さい。



3) 電源は、AC100V+10%-15%ですが、瞬停を含む不安定な電源やノイズ成分を含むものと、誤動作するおそれがありますので、本器の電源は安定なものを使用して下さい。

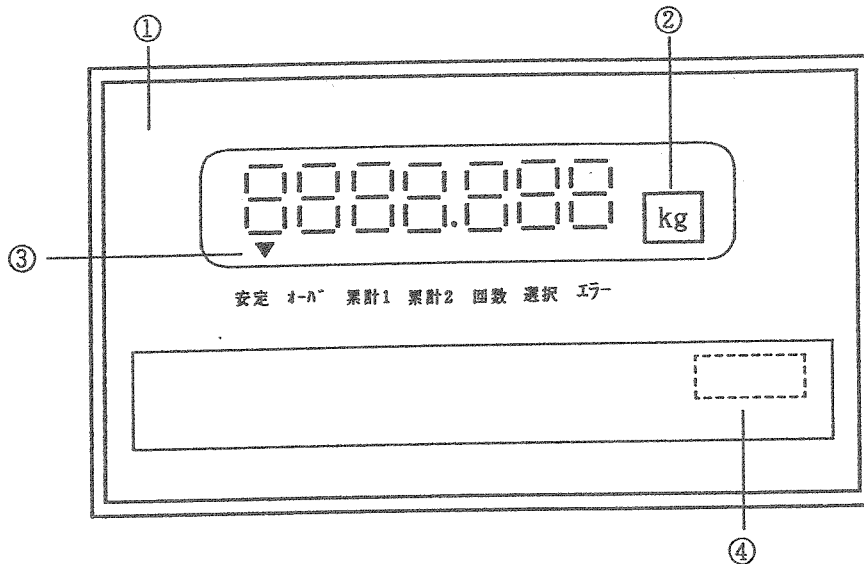
4) 各入出力用ケーブルは、シールド付のものを使用し、コネクタのシールド端子又は、本体に接続して下さい。

\* 電源(100V)のプラグは、入れないで下さい。電源をOFFにするスイッチは、本体にはついていません。本取扱説明書の3-4まで完了してから初めて電源プラグを接続して下さい。

5) フロントパネルは、容易に取れますので、本器を手を持つ場合は、フロントパネル以外の部分を持つようにして下さい。

### 3-2 パネル面の説明

#### 3-2-1 フロントパネル



#### ①表示部

AD-8917が入力したシリアルデータ（重量値）及び状態、又は累計値、累計回数値を表示します。

#### ②単位シール

この位置に、付属の単位シールを貼付して下さい。

#### ③表示の意味は、本器が通常コードか累計モードかにより異なります。（3-4 参照）

##### （1）通常モードの場合（外部表示器として使用する場合）

▽  
安定 -----入力したシリアルデータが「安定」の場合に点灯します。

▽  
オーバー -----入力したシリアルデータが「オーバー」の場合に点灯します。

▽  
選択 -----本器が選択されている場合に点灯します。

▽  
エラー -----入力したシリアルデータが不完全の場合、又はデータフォーマットが異なる場合に点灯します。

▽    ▽    ▽  
累計1、累計2、回数 ----- 点灯しません。

(2) 累計モードの場合 (外部積算器として使用する場合)

安定…………… 累計した時のシリアルデータが安定の場合に点灯します。

オーバー…………… 累計値が10,000,000以上の場合に点灯します。

累計1…………… 累計モード1の場合で、コントロール入力の切換で累計値表示、累計回数値表示の時は点灯、又重量値表示の時は、点滅します。

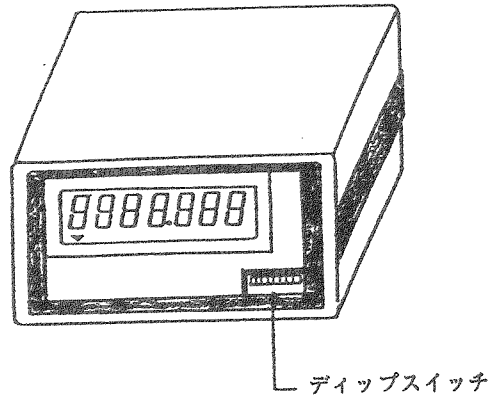
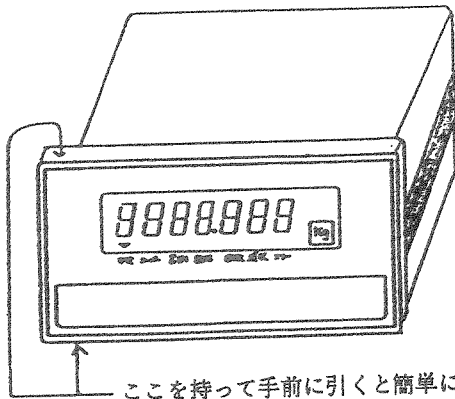
累計2…………… 累計モード2の場合で、累計1と同様に点灯、点滅します。

回数…………… 累計回数値表示の場合に点灯します。

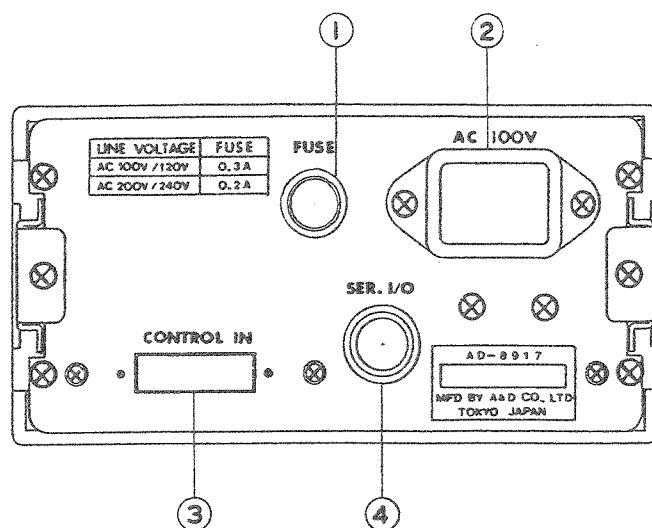
選択…………… 本器が選択されている場合に点灯します。

エラー…………… 入力したシリアルデータが不完全の場合、又はデータフォーマットが異なる場合に点灯します。

④フロントパネルを外すと、ディップスイッチがあり、モード等の設定を行います。(3-4 参照)



### 3-2-2 リアパネル



#### ①ヒューズ (0.3A)

切断した場合、原因を調べてから交換して下さい。

#### ②電源ケーブル用コネクタ

3-1-1を参照して、接続して下さい。

#### ③コントロール入力用コネクタ

表示するデータ（重量値、累計値、累計回数値）の切換、又はそれらのリセット等を行う為の入力部です。

#### ④シリアル入出力用コネクタ

弊社ウェイング・インジケータ、台秤、プリンタ等とインターフェイスできます。

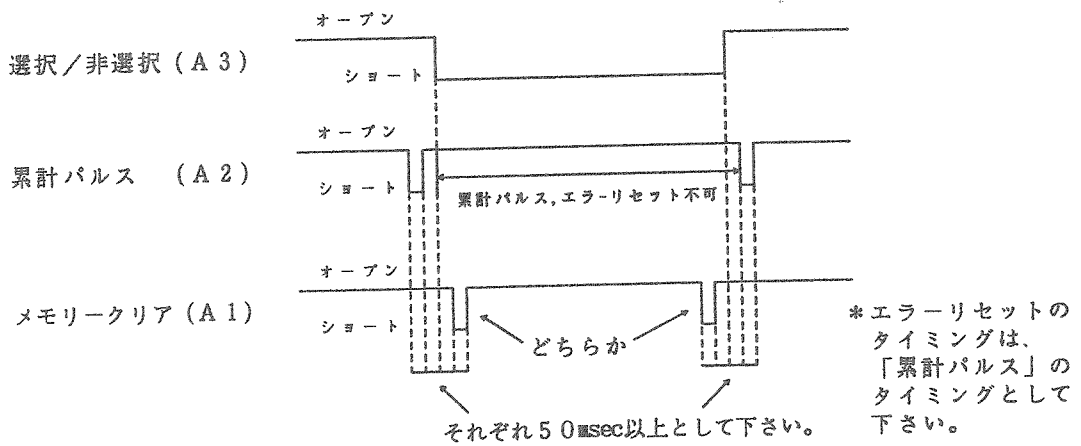


### 3-3 基本動作

#### 3-3-1 選択、非選択とメモリのクリア

本器リアパネルのコントロール入力のA3をオープンとすると、本器は選択となり、シリアルデータの入力が可能となります。データが入力選択の有効条件と一致していれば、通常モード、累計モードそれぞれの機能に従って動作します。又、エラーが発生した場合は、A1をコモン(B1~7)とショートするとリセットできます。一方、A3をコモンとショートすると本器は、非選択となり、新しいシリアルデータの入力は無視されます。又、手動累計モードにおける累計パルスは、クリア、無視されます。そして、表示は、それ以前の状態を保持します。累計モードに於ては、切換により、重量値、累計値、累計回数を表示できます。

非選択とした後にA1をコモンとショートすると、通常モード、累計モードに関係なく、重量値、累計値、累計回数値、及びエラーの全てをクリアできます。



#### 3-3-2 不発揮性メモリー

重量値、累計値、累計回数値は、電源を切っても内蔵の電池により保持されます。

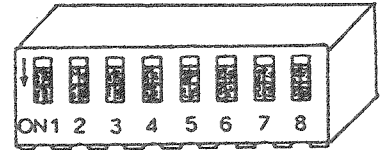
#### 3-3-3 ウォッチドック

ウォッチドックは、常にCPUを監視しており、外部よりのノイズ、電源状況等の影響による誤動作を防止しています。

### 3-4 設定

#### 3-4-1 ディップスイッチ

フロントパネルを外すとディップスイッチがあります。これにより各種の設定ができます。



ディップスイッチ設定及びモード

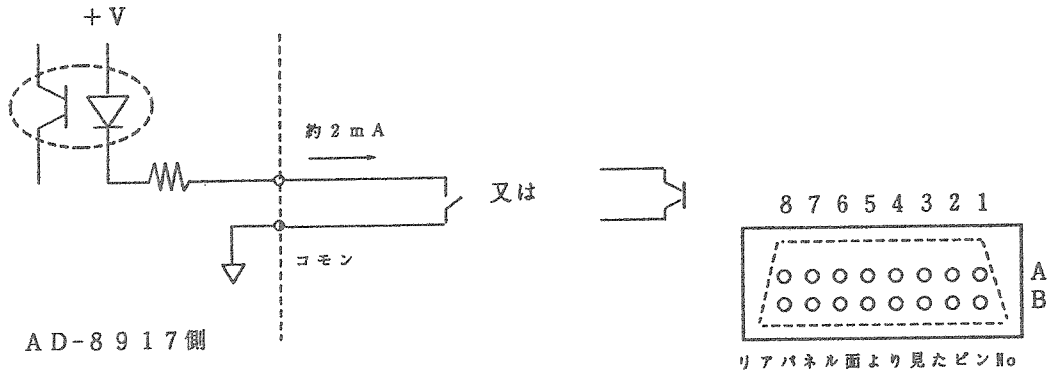
NO	名称	目的	設定	モード
1	ボーレート	シリアルインターフェ이스のボーレートを設定します。(電源投入時のみ有効です。)	OFF	2400 bps
			ON	600 bps
2, 3	入力選択 (有効条件)	シリアル入力データの有効条件を設定します。データフォーマット(a)の場合には、この設定は無視されます。  (3-6 参照)	2: OFF, 3: OFF	全て有効
			2: ON, 3: OFF	「総重量」のみ有効
			2: OFF, 3: ON	「正味」のみ有効
			2: ON, 3: ON	「風袋」のみ有効
4	モード切換	本器が累計を行うかどうかを設定します。	OFF	通常モード(累計は行いません。)
			ON	累計モード
5	極性切換	累計モードでは、有効な極性の入力データのみを累計します。データフォーマット(b)の場合は、入力選択の一致も必要です。	OFF	プラスのみ有効
			ON	マイナスのみ有効
6	累計方法	シリアル入力データの累計を毎回その度に行うかどうかを設定します。	OFF	自動累計 (入力したデータの全てを累計します。)
			ON	手動累計 (累計パルスを入力すると累計します。)
7	累計モード切換	手動累計モードの累計方法を設定します。  (3-5 参照)	OFF	累計モード2
			ON	累計モード1
8	チェックモード	保守を行う場合にのみ設定します。電源投入時のみ有効で、その時は、コントロール入力A1をオープンとします。  (4-1 参照)	OFF	ノーマルモード
			ON	チェックモード

注) 静電気を帯びた状態でディップスイッチを操作しますと、内部に悪影響を及ぼす場合があります。設定時は、帯電していない状態で操作して下さい。又、ボード上には電気信号が流れていますので導電物などが中に入らないようにして下さい。

### 3-4-2 コントロール入力用コネクタの接続及び動作

付属のコネクタにスイッチ等を接続して切換ると、下記の事ができます。


(スイッチは、付属品には含みません。)



コネクタの接続及び動作

ピンNO	接続方法	コマン	動	作
A 1, A 3	A 1   A 3 [Square Wave]	H	エラーリセット	エラーマークのOFF及びエラー表示状態の解除をします。
	[Square Wave]	L	メモリークリア	エラーリセットした後、重量値、累計値、累計回数値を0とします。(A 3を先にLとします。)
	H   H	H	選択入力	本器が選択される状態となります。
	H   L	L	非選択入力	本器が非選択の状態となります。 (メモリは、その直前のデータを記憶します。)
A 2	[Square Wave]		累計パルス入力	手動累計モードに於て、最新の入力データ(重量値)を1回累計します。
A 4, A 5	A 4   A 5 H   H	H	累計値表示	累計モードに於て、累計値を表示します。 (表示は、絶対値です。)
	L   H	H	回数値表示	累計モードに於て、累計回数値を表示します。
	H   L	L	重量値表示	累計モードに於て、重量値を表示します。 通常モードでは、設定不要です。
	L   L	L		
A 6			N. C.	
A 7			N. C.	

A 8, B 8		F. G. (シールド)	
B 1 ~ 7		コモン	

\* H----- オープン、L----- コモンとショート、 50 msec以上コモンとショート（動作するのは、最大50 msec 後です。）

### 3-5 モードの説明

#### 3-5-1 通常モード

入力データ(重量値)が、入力選択の有効条件と一致すれば表示します。

#### 3-5-2 累計モード

重量値、累計値、累計回数値を表示することができます。重量値は、入力データが入力選択の有効条件と一致すれば表示します。累計値、累計回数値は、下記の条件で累計すると表示します。

#### 3-5-3 自動累計モード

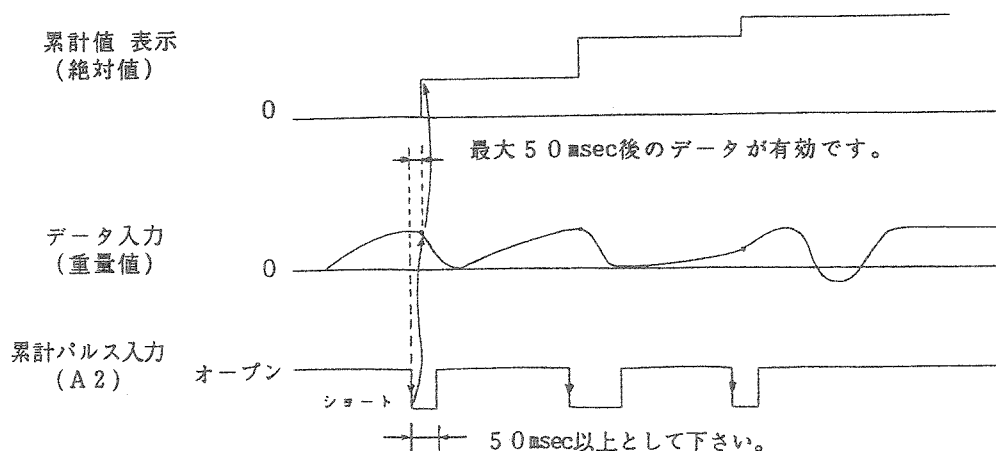
このモードは、入力データが有効条件と一致すれば、「安定」な又は、「不安定」なデータの全てを累計します。

#### 3-5-4 手動累計モード

累計パルスにより累計しますが、モード1と2では、累計値は異なります。また、入力データは、有効条件と一致していなければなりません。

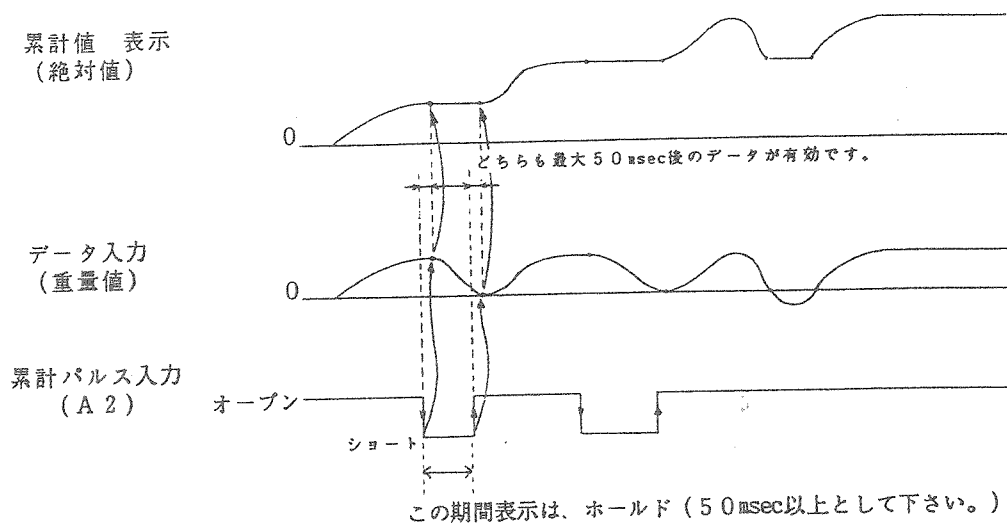
##### (1) 累計モード1

このモードは、累計パルスの立下がり直後の入力データを累計し、その値を表示します。



## (2) 累計モード2

このモードは、累計パルスの立下り直後の入力データを累計し、立上り後は、累計と入力データを加算し、その値を表示します。



(3) 累計パルスは、本器が選択されている場合のみ有効で、この事は累計を行う迄、保持しています。但し、電源を切るか、又は、非選択とするトリセットされます。

### 3-5-5 累計値の表示

累計値は、オーバーしない限り上の桁より7桁を表示します。

例) 1 2 3 4.5 6 7 9 9は、1 2 3 4.5 6 7と表示します。

なお、メモリ内では、切り捨ては行いませんので、次に0.00001を加算すると、表示は1 2 3 4.5 6 8となります。

### 3-6 シリアル入出力

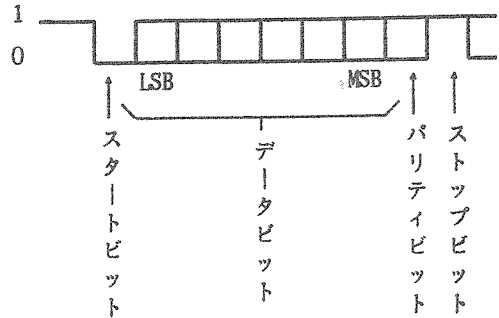
#### 3-6-1 インターフェイス仕様

(1) 方式…………… 20mAカレントループ

(2) 伝送方式…………… 半二重方式

(3) 信号方式

- ボーレート 600、2400 bps
- データビット 7
- パリティビット 1 (EVEN)
- ストップビット 1
- 使用コード ASCII

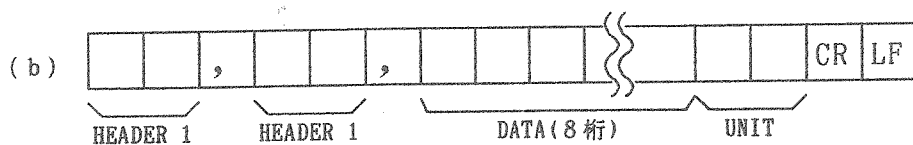
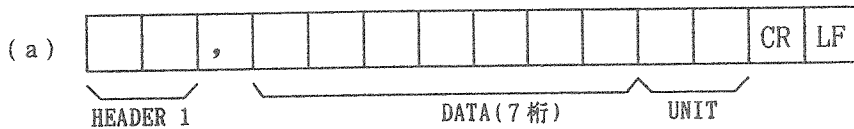


(4) 出力レベル

- 20mAカレントループ
- 1 = 20mA 0 = 10mA
- (但し、電流源は、外部で用意して下さい。)

#### 3-6-2 データフォーマット

次の二種類のフォーマットに対応します。



HEADER1は、次の4種類です。

- OL……………オーバーロード
- ST……………安定した(STABLE) (重量値)
- QT……………安定した(STABLE) (個数値)
- US……………不安定(UNSTABLE)

DATAは、ASCIIの数字とします。但し、次の文字を含みます。

- ……………2D (HEX)
- +……………2B (HEX)
- └……………20 (HEX)
- ……………2E (HEX)

HEADER2は、次の3種類です。

UNIT (単位) は、2文字です。以下に例を示します。

NT.....正味重量 (NET)

kg.....6 B, 6 7 (HEX)

GS.....総重量 (GROSS)

pc.....7 0, 6 3 (HEX)

TR.....風袋 (TARE)

□t.....2 0, 7 1 (HEX)

□%.....2 0, 2 5 (HEX)

\* UNIT: ASCIIで20~29, 3A~7E (HEX) の文字が有効です。

UNITの識別はしませんので、例えば1kgの次に2 tの重量を入力すると、累計は3となりますので、御注意下さい。また、15oz+1ozは16と表示します。

(a) の例.....+0.37kgの安定した重量の場合

S	T	,	+	0	0	0	.	3	7	k	g	CR	LF
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----

\* 小数点のないデータは、6桁で有効です。例) ST, +00037kg CR LF

(b) の例.....-0.926kgの安定した正味重量の場合

S	T	,	N	T	,	-	0	0	0	.	9	2	6	k	g	CR	LF
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----

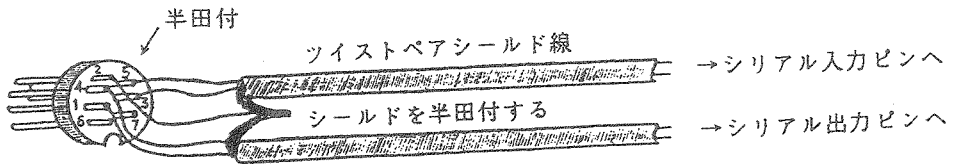
\* UNITとCRの間に ,(...2C (HEX)) があっても有効です。

例) ST, NT, -000.926kg CR LF

### 3-6-3 シリアル入出力用コネクタ

ピンNO	名 称
1	シリアル出力
2	F. G (シールド)
3	シリアル入力
4	シリアル出力
5	シリアル入力 (コモン)
6	N. C
7	N. C

\*シリアル入出力には極性はありませんが、5ピンは、コントロール入力用コネクタのコモンと共通です。



### シリアル入出力用コネクタ半田付方法

- \* 他の機器との距離は、約100m迄です。また、ケーブルはノイズや静電気の影響を受けないように注意して下さい。



### 3-7 オーバーとエラー

#### 3-7-1 通常モードの場合

- (1) シリアル入力データが「オーバーロード」の場合には、オーバーマークが点灯し、表示はブランクします。但し、マイナスデータの場合は“-”を表示します。また、小数点を含むデータの場合は、小数点を表示します。
- (2) シリアル入力データ不完全の場合、又はデータフォーマットが異なる場合にエラーマークが点灯します。次の入力データが正しいフォーマットならば、自動的に消灯します。次の入力データがない場合は、エラーリセットを行えば消灯します。

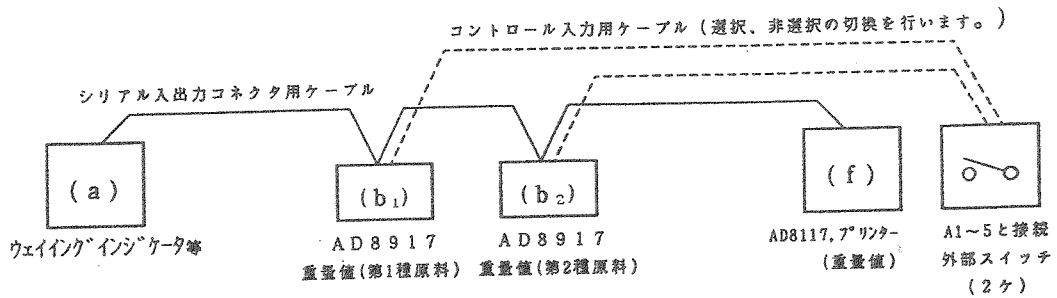
#### 3-7-2 累計モードの場合

- (1) 自動累計モード又は、手動累計モードで累計パルス後のシリアル入力データが「オーバーロード」の場合には、Err OLとリアパネルのコントロール入力で設定されている表示(重量値、累計値又は、累計回数値)との交互表示状態になります。累計は無効です。次の入力データが「安定」又は、「不安定」な場合は、有効条件と一致すれば累計します。交互表示状態は、エラーリセットにて解除できます。
- (2) 手動累計モードで(1)以外の場合(モード2ではホールドでない場合)重量値はブランクします。但し、マイナスデータの場合は、“-”を表示します。また、小数点を含むデータの場合は、小数点を表示します。モード2では、上記の他に累計値もブランクします。
- (3) シリアル入力データが不完全な場合、又はデータフォーマットが異なる場合、エラーマークが点灯します。次の入力データが正しくても消灯しませんが、エラーリセットを行うと消灯できます。なお、交互表示状態にはなりません。
- (4) 累計値が10,000,000以上になるとオーバーマークが点灯します。また、累計値の下の7桁のみを表示します。例) 10,000,002.30は、00002.30 と表示します。
- (5) 累計回数値が10,000,000以上の場合は、下の7桁のみを表示します。但し、オーバーマークは点灯しません。

\* 本器が非選択の時にエラーリセットを行うと、メモリのクリアも同時に行いますので注意して下さい。

### 3-8 使用例

#### 3-8-1 通常モードの例 (配合システムで使用する場合)



(a) は、例えばAD4323を使用し、カレントループ出力をストリームとします。  
ボーレートは、2400bpsとします。

(f) は、マニュアルプリントとします。必要な時にプリントボタンを押すと印字します。

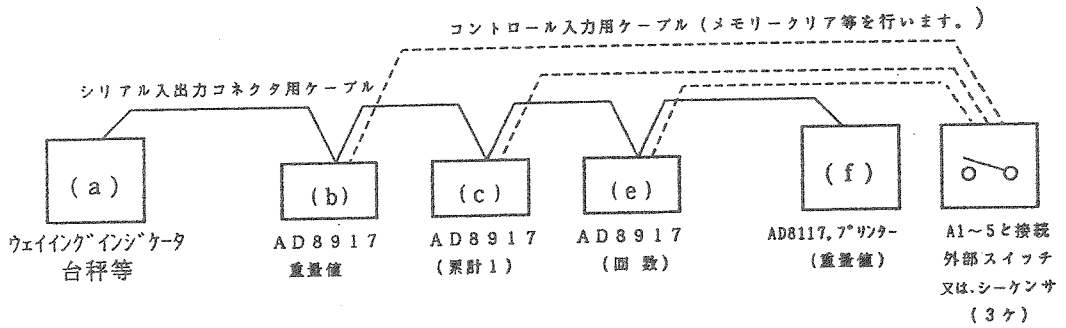
手順(1) まず、(b<sub>1</sub>)と(b<sub>2</sub>)のディップスイッチの全てをOFFとし、コントロール入力の外部スイッチの全てをオープンとします。(準備)

手順(2) 第1種原料の計量を行うとします。(b<sub>2</sub>)には、重量データが入らないようにする為に非選択とします。(コントロール入力のA3をコモンとショートします)  
(コモン………B1~7)  
計量が終了して、(b<sub>1</sub>)に重量データが入ったならば、(b<sub>1</sub>)を非選択として値をホールドします。

手順(3) 原料が第2種原料に移ったならば、(b<sub>2</sub>)を選択とします。(A3をオープンとします)計量が終了したならば、(b<sub>2</sub>)を非選択としてその値をホールドします。

この様に、あるタイミングでの重量値をホールドする時等に使用すると便利です。

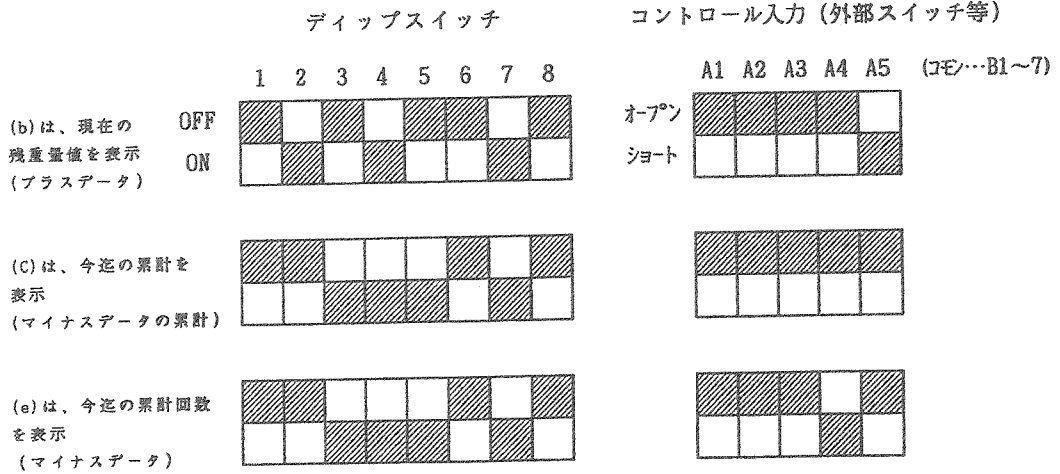
### 3-8-2 自動累計モードの例 (排出計量のモニタとしての場合)



(a) は、例えばAD4323を使用し、カレントループ出力をオートプリントとします。ボーレートは、2400bpsとします。

(f) は、自動プリントとします。

(b) ~ (e) は、下図のようにします。



手順 (1) まず、メモリーをクリアします。

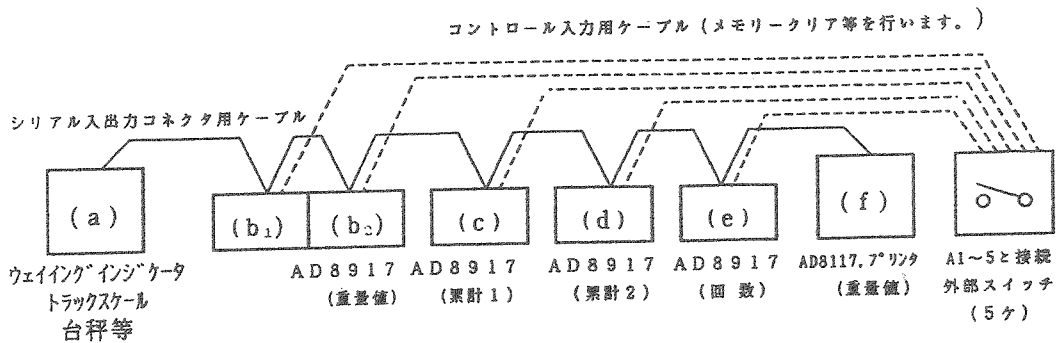
(A3をコモンとショートした後にA1をコモンとショートします。)

手順 (2) 原料の排出を行います。排出が終了すると、インジゲータ (AD4323) が重量データを1回出力します。(b)~(e)は、データが入力すると、それぞれの値を表示します。また、(f)は、排出重量値を印字します。

手順 (3) 再び、原料の排出を行うと(2)を繰り返します。

### 3-8-3 手動累計モードの例

(3-8-1の例において、第1種原料と第2種原料の配合を数回行う場合)



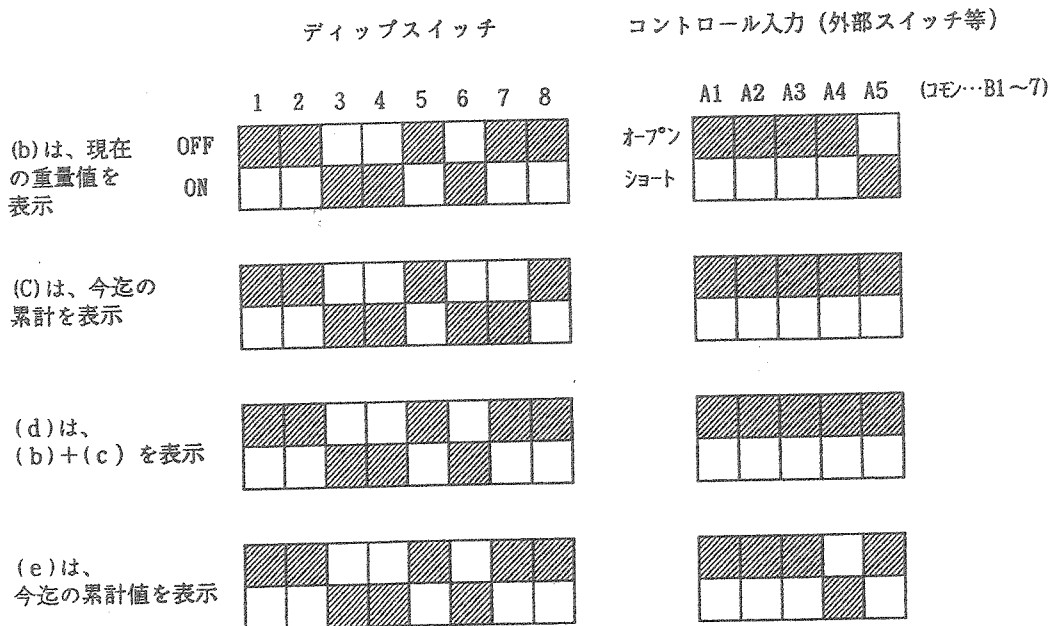
(a) は、例えばAD4323を使用し、カレントループ出力をストリームとします。

ボーレートは、2400bpsとします。

(b) ~ (e) の設定は下図のようにします。

(正味重量の累計について考え、データは2400bps、“+”の場合を有効とします。)

(f) は、マニュアルプリントボタンを押すと、重量値を記録できます。



### 3-8-3 手動累計モードの例

(3-8-1の例において、第1種原料と第2種原料の配合を数回行う場合)

(a) は、例えばAD4323を使用し、カレントループ出力をストリームとします。  
 ボーレートは、2400bpsとします。

(b) ~ (e) の設定は下図のようにします。

(正味重量の累計について考え、データは2400bps、“+”の場合を有効とします。)

手順(1) まず、メモリをクリアします。

(A3をコモンとショートした後に、A1をコモンとショートします。)

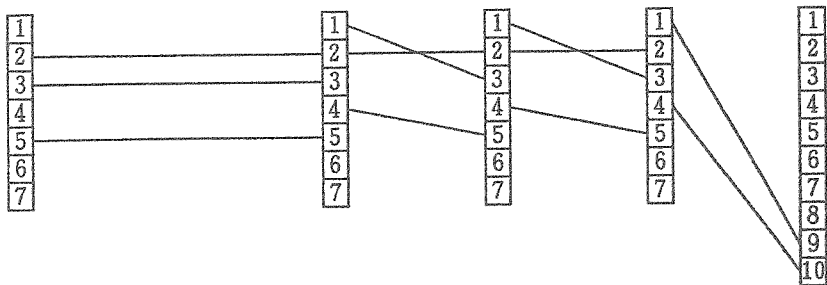
手順(2) 第1種原料の計量を行うとします。(b<sub>1</sub>側)(b<sub>1</sub>)を選択として(A3をオープンとします)計量を行います。(b<sub>2</sub>)は、非選択とします。(A3をコモンとショートします)(b<sub>1</sub>)の計量が終了したら、(b<sub>1</sub>)を非選択として、その値をホールドします。(c)と(d)に累計パルスを入れて(A2をコモンをショートした後、オープンとします)累計を行います。

手順(3) 次に第2種原料の計量を行います。(b<sub>2</sub>側)(b<sub>2</sub>)を選択として計量を行います。(b<sub>1</sub>)は、非選択のままとします。(b<sub>2</sub>)の計量が終了したら(b<sub>2</sub>)を非選択として、その値をホールドします。(c)に累計パルスを入れて累計を行います。1回目の配合が終了したので(e)に累計パルスを入れて、累計回数を1とします。(d)は、2回目の配合に備える為にメモリクリアして値を0とします。

手順(4) (2)と(3)を順に繰り返して、(e)が計画した配合回数になる迄行います。その時の(c)の値が配合した総累計となります。

### 3-8-4 AD8917を3台接続する場合の配線図例

はかり、シンジケーターなどの  
 カレントループ出力端子 AD8917 AD8917 AD8917 プリンター  
 AD8117



注) AD8917入出力に上記以外のものを接続する場合は、それぞれの入出力ピンと接続して下さい。また、データフォーマットはAD9817と一致しなければなりません。

## 第4章 保 守

### 4-1 チェック動作

本器には、内部メモリ、バッテリー、表示管、ディップスイッチ、コントロール入力、シリアル入出力コネクタ（入力）のチェックモードがあります。

フロント・パネルの内側にあるディップスイッチの8をONし、コントロール入力のA1をオープンとして、電源を投入すると、

1) 


全セグメントが0を表示し、さらに1, 2……9を表示します。

2) 

全セグメントが小数点を表示します。

3) 

全セグメントが▽マークを表示します。

4) 

メモリーチェックOKの表示をします。

5) 

バッテリーチェックOKの表示をします。

6) 

ディップスイッチの設定を左側より1, 2……4の順にONならば“1”、OFFならば“0”を表示します。

7) 

ディップスイッチの設定を左側より5, 6……8の順にONならば“1”、OFFならば“0”を表示します。

8) 

コントロール入力の設定を左側よりA1, A2……A5の順にショートならば“1”を、オープンならば“0”を表示します。

9) — □ 1 2 , . 4 5  
 ▽ ▽

- □ は、ブランクです。
- 4)、5)、9) で異常な場合は、E r r を表示します。また、9) では 0 を表示しても異常です。
- 9) の次は、1) から繰り返します。
- 通常通り使用するためには、ディップスイッチ 8 を OFF として、電源を一度切った後、再投入して下さい。

シリアル入出力用コネクタのチェックで、このチェックをする為には、出力線を入力線に接続しなければなりません。また、ディップスイッチの 2, 3, 4 を OFF、コントロール入力の A 1, A 3 をオープンとして下さい。

(設定が違くと異なる表示をします。)  
 左記の表示は、本器が安定な正味重量 S T, N T, -0 1 2 4. 4 5 t C R L F を 1 回だけ出力し、受信するという動作をしています。  
 (電源投入後にディップスイッチ 8 を OFF すると S T, -0 8 7. 6 5 kg C R L F を出力します。)

#### 4-2 正しく動作しない場合

(以下のことができない場合は、弊社までお問い合わせ下さい。)

##### 4-2-1 4-1のチェックで何も表示しない場合

- a) ご使用中の電源は、AC 100V ですか?
- b) 正しいヒューズが入っていますか? 又、切れていませんか?
- \* 本器より異臭、煙等がでている場合は、ただちに電源を切って下さい。

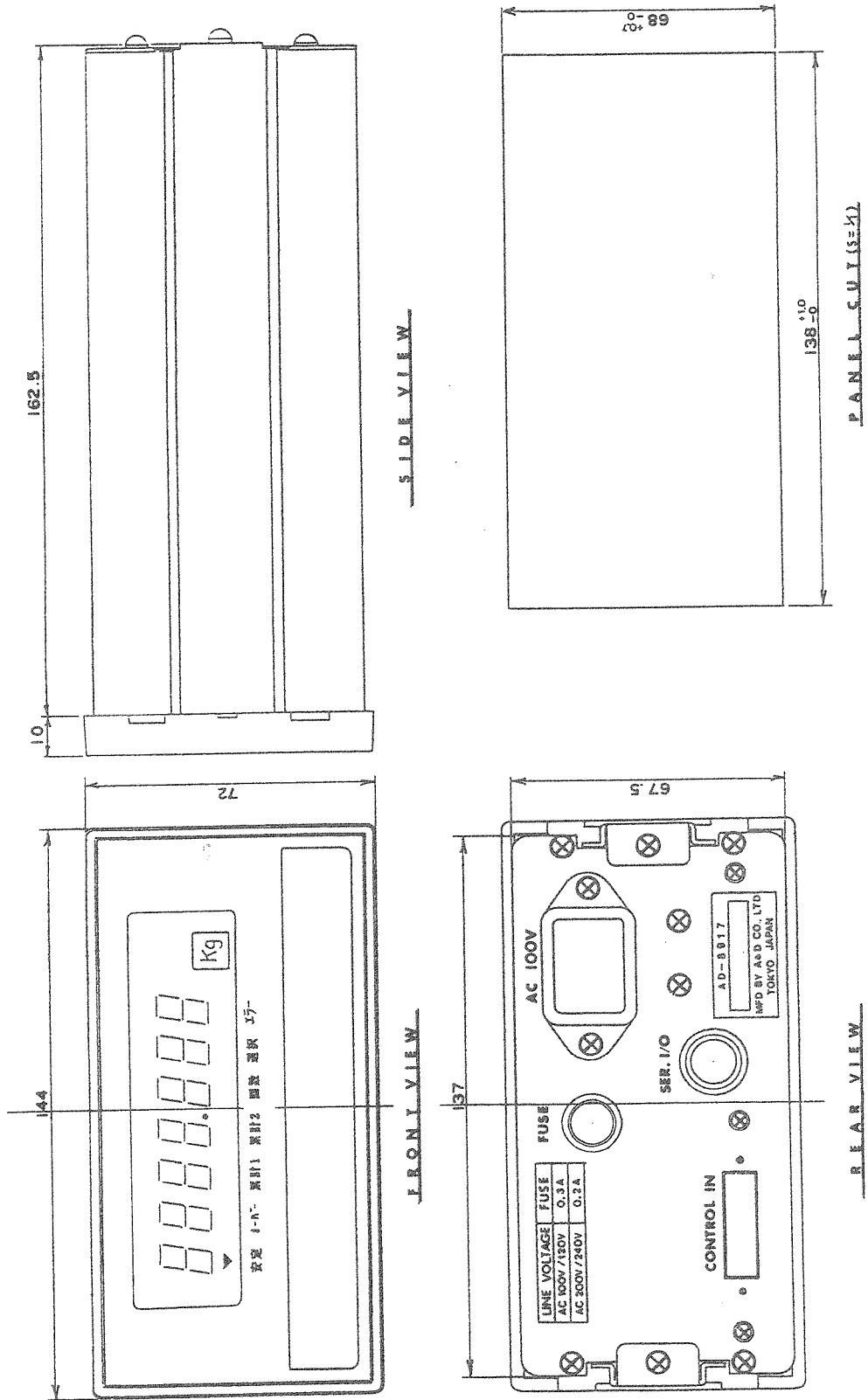
##### 4-2-2 4-1のチェックで何かを表示する場合

- a) 1)、2)、3) のチェックで正しく表示しますか?
- b) 4)、5)、9) のチェックは O. K ですか?
- c) 6)、7)、8) のチェックで表示は設定と同じですか?

##### 4-2-3 4-1のチェックは正しく行える場合

- a) ディップスイッチ 8 は、OFF となっていますか?
- b) ポーレートは、送信側と一致していますか?
- c) 非選択のままになっていませんか、又他の設定は正しいですか?
- d) コントロール入力用コネクタ、シリアル入出力用コネクタの配線は正しいですか?

第 5 章 外形図





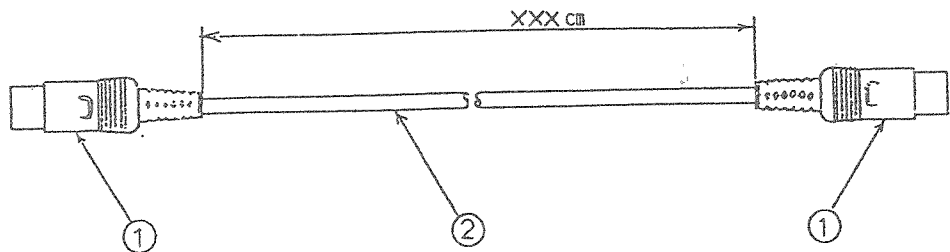
第6章 別売品 KO:359-XXX

シリアル入出力用コネクタには、下記のケーブルが使用できます。(但し、入力専用)

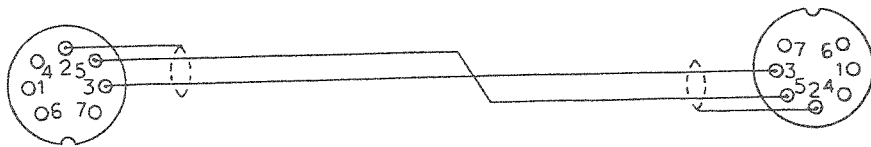
6-1 使用部品

	名 称	規 格	メーカ-	数 量
1	DINプラグ	JA:TCP 0576	ホシデン	2
2	2芯シールド線	0.18/7芯 横巻シールド		

6-2 外 観



6-3 接 続



- 3-3 芯線
- 5-5 芯線
- 2-2 シールド
- 他のピンは、無接続

注) KO:359-XXXのXXXは、上図のケーブル部長さを、cm単位で表す。

例 KO:359-200は、ケーブル長さ200cm。

6-4 長 さ

200cm~1400cm(200cmごと)